

# 令和5年度 消防長「政策宣言」中間報告

消防長 竹内 秀樹

## ○ 令和5年度重要事業

事業名	防火安全対策の強化
目標	住宅火災による死傷者を減らすため、住宅用火災警報器の設置及び適切な維持管理の推進を目指し市民への周知に努めます。 また、幼年・少年消防クラブを通じて子供たちへの防火教育を行うとともに、引き続き高齢者を対象とした防火指導を行います。
進捗状況	住宅火災による死傷者を減らす取組については住宅防火診断を行い、今年度はこれまでに約1,500軒の住宅を訪問し、住宅用火災警報器の設置や維持管理をPRしました。 園児や小学生への防火教育については、園児に対しては、年長児650人が参加する防火を誓うイベントを開催し、小学生には避難訓練の際に防火対策の重要性を周知しました。
今後の対応	今後も引き続き住宅防火診断を行い、設置率の向上や維持管理の周知を図り、火災による死傷者ゼロを目指していきます。 小中学校の避難訓練において、消火器の取扱い方を指導し、児童生徒の防火意識を更に高めていけるよう取り組みます。

事業名	消防活動力の強化
目標	火災による延焼防止を目標に放水開始時間の迅速化を図り、消防団とも連携を強化した消火戦術により、効率的な消火活動を目指します。 また、救急需要の増加に伴い管轄区域以外への出動により救急車の現場到着時間が伸びていることから、適正利用のPRや5台の救急車の効率的な運用を行い現場到着時間の短縮に努めます。
進捗状況	4年ぶりに射水市消防団消防操法大会を実施し、消防団員の消火技術の向上を図った。また、スマートフォンの地図上で消火栓や防火水槽を確認できるようにし、消防水利を迅速に把握することを可能にしました。 救急車の現場到着時間の短縮については、救急車の出動件数が昨年同期より300件以上増加していますが、出動準備に工夫をしたことで約1分間短縮しています。
今後の対応	消防訓練において消防車から消防車へ中継送水する訓練を中心にを行い、各分団の連携強化を図ります。 救急車の現場到着時間の短縮については、更に短縮に努め、増加する救急要請にしっかり対応できるよう体制を整えます。

事業名	消防力の維持・強化
目標	<p>立地的に不都合のあった分団屯所を老朽化による建て替えと同時に移転をすることで機動力を高めます。また老朽化した消防ポンプ自動車を更新し、消防力の維持に努めます。</p> <p>引き続き消防団員の加入促進及び消防団員の装備更新を行い、安全性を向上させ消防団活動の強化につなげます。</p>
進捗状況	<p>二口分団、新湊分団の屯所を移転し、団員の駐車場やホース洗い場を確保し、活動しやすい環境となり機動力も高まりました。</p> <p>消防ポンプ自動車の更新については、自動車メーカーからのシャーシ（車台）の供給が遅れていることから、例年より導入が遅くなる見込みです。</p> <p>消防団員の装備更新については、防火衣及び防火帽を更新し、安全性が向上しました。</p>
今後の対応	<p>消防分団屯所については立地的に不都合なところがあることから、環境を整えるため、場所について引き続き検討します。</p> <p>消防団員の加入促進については、あらゆる機会を捉えて重要性をPRし、市民への理解が深まるよう努めます。</p>